2018 ROK SHIFTER CUP SUZUKA SERIES Round11/Round12

2018 ROK SHIFTER CUP 鈴鹿シリーズ 第 11 戦／第 12 戦

第11戦は東選手が快勝、第12戦は雷雨で中止に
日本代表の座は水越選手と小林選手が獲得！



■2018 年 8 月 11～12 日 ■鈴鹿サーキット国際南コース（三重県） ■曇／雨（ウェット） ■参加台数：第 11 戦 21 台／第 12 戦 中止

2017 年 12 月の開幕戦以来 5 大会･全 10 戦によって繰り広げられてきた 2018 ROK SHIFTER CUP 鈴鹿シリーズは、いよいよ最後の大会を迎えた。これは同時に、APG シリーズとの合算でポイントランキングが決まる 2018 ROK SHIFTER CUP シリーズのラスト 1 大会。今回の 2 戦の結果によって、10 月 13 日にイタリア・サウスガルダカーティングで行なわれる 2018 ROK INTERNATIONAL FINAL に招待される日本代表選手 2 名が選出されることとなる。

ポイントリーダーとしてこの大会に臨んだのは、ここまで 152 点を獲得している水越健太選手（MOMOX）。これに 141.5 点の小林弘直選手（HRT）と 100 点の東拓志選手（NEXT-ONE Racing）が続いている。

今大会は 2 デイ制。初日にタイムトライアルが、2 日目に第 11 戦と第 12 戦が予定されている。エントリーは最年少 15 歳、最年長 50 歳のバラエティ豊かな 21 名だ。

ドライコンディションで行なわれたタイムトライアルでは、廣岡陸勢選手（トレンタクワトロ）が 48 秒 056 のトップタイムをマークして第 11 戦のポールを獲得。2 番手に石川京侍選手（VITEC racing）、4 番手に高橋知己選手（VITEC racing）と、スポット参戦のカート出身 4 輪ドライバーが上位に着けた。3 番手は石川選手と同タイムだった東選手。注目のランキング上位 2 名は、水越選手がトラブルに悩まされて 14 番手、小林選手がアクシデントに遭遇して 15 番手だ。



Round 11
（7LAPS）



第 11 戦は快晴の空に黒雲が近づく中でスタート。すると 4 周目に大粒の雨が降り始め、レースは 6 周終了時点で赤旗中断、時間を遅らせてやり直すこととなった。10 周から 7 周に短縮された再レースが始まる頃には雨は止み、雲間に青空ものぞいたが、コースはまだ全体が濡れたまま。全車ウェットタイヤを装着してのレースとなった。スタートでは 3 番グリッドの東選手が好ダッシュを決めてトップに浮上。その後方では、マ・キン・ファ選手（Crocpromotion）が 12 番グリッドから素晴らしい追い上げを見せ、3 周目に 2 番手に上がってきた。しかし 4 周目、マ選手はトップの座を狙ってアタックを仕掛けたところでスピン、リタイアとなった。代わって先頭集団を追い上げてきたのが、5 番グリッドの大草りく選手（MOMOX）。スタートで出遅れ 1 周目に順位を下げたが、そこからハイペースで挽回して 3 番手に浮上し、前を行く廣岡選手のテールを捕らえた。レースが後半戦に入ると、廣岡選手と大草選手が東選手との距離を詰め、トップ争いは緊迫の状況に。だが、東選手は落ち着いて周回を重ね、後続に逆転を許さない。結局、東選手が先頭を守り切って第 10 戦に続く 2 連勝、今シリーズ 3 勝目を飾った。2 位の廣岡選手は今季 3 度目、3 位の大草選手は今季 2 度目のトップ 3 圏内フィニッシュだ。先頭集団から 4 秒ほど遅れて、10 番グリッドからレース序盤で大きく順位を上げた金田翔選手（TAKAGI PLANNING）が 4 位でゴール。序盤のポジションダウンを取り戻した余快選手（Team EMATY）が 5 位、ROK SHIFTER 初レースの石川選手が 6 位に入賞した。ポイントリーダーの水越選手は 15 位、ランキング 2 番手の小林選手は 13 位だった。



WINNER：東 拓志 選手

スタートでは、エンジンの吹け上がりはそんなに良くなかったけれど、うまくトップに立てました。前に誰もいないのでブレーキングなんかの基準が分からず難しかったけれど、限界ギリギリを探りながら走りました。後ろに誰かが着いているのは、音で分かっていました。僕は立ち上がり重視で走っていたので、ブレーキングで追い付かれたのだと思います。第 12 戦はドライになると思うので、雨のイメージは一回捨てて頑張ります。



2nd PLACE：廣岡 陸勢 選手

東選手に追い付くところもあったけれど、コンディションがウェットだったし、後ろから追い付いてくる選手もいたので無理できず、2 位のままのゴールになりました。ROK SHOFTER でウェットコースを走るのは初めてだったけれど、そんなに悪くなかったので、第 12 戦までにもっとマシンを煮詰めたいです。今度はうまくスタートを決めたいですね。



3rd PLACE：大草 りく 選手

ドライでも調子良かったけれど、レインも嫌いではないので、普段どおりの走りでいけました。スタートで出遅れて順位を落としてしまったのですが、タイヤが皮むきしてあってグリップがよかったので、攻めて走りました。2 番手に追い付いてから、ちょっとミスってしまって抜けなかったので、第 12 戦ではミスしないように気を付けたいです。



第 11 戦終了後、再び強い雨が降り始め、やがて雷もひんぱんに鳴り始めた。これで大会の進行は中断。気象情報を確認した大会主催者は、この先もレースを行なうことが困難な状況が続くと判断して、そのまま大会を中止することを決定した。これによって、大会の最終レースに予定されていた ROK SHIFTER CUP 第 12 戦も中止となった。

こうして 2018 ROK SHIFTER CUP は全レースを終了。水越選手がシリーズポイント 152 点でチャンピオンに、小林選手が同 141.5 点でランキング 2 位になり、この 2 名が ROK INTERNATIONAL FINAL に招待される日本代表ドライバーに選出された。



2018 ROK INTERNATIONAL FINAL 日本代表
シリーズチャンピオン　水越 健太 選手

素直にうれしいです。苦しいレースでも踏ん張った甲斐がありました。メカニックとチームに感謝しています。今季は常にマージンを考えて、ちゃんと走り切るレースを心がけました。優勝できないレースでもだいたい 3 位以内で終えられたことがチャンピオンにつながったのかな、と思います。海外のレースは初めてなのですが、日本代表としてレースを走れる機会はなかなかないと思うので、イタリアでは“世界のレース”を楽しんできたいです。

2018 ROK INTERNATIONAL FINAL 日本代表
シリーズランキング 2 位　小林 弘直 選手

ROK SHIFTER を始めて 3 年目で目標にしていた日本代表になれて、うれしいです。ただ、できればチャンピオンになってインターナショナルファイナルに行きたかったですね。ミッションカートは前を抜くことが簡単ではないので、追い上げて 3 位になった第 10 戦は印象に残っています。海外のレースは、KF クラスでマカオの大会に何度が出場したことがあります。イタリアではその経験を生かして、予選を通過して決勝を走りたいです。



【NEXT RACE】2019 ROK SHIFTER CUP 鈴鹿シリーズ 第 1 戦／第 2 戦　2018 年 10 月 14 日 三重県・鈴鹿サーキット国際南コース

TONY KART KAPAN　http://www.tonykart.jp/